

MR I 検査説明書

MR I とは、強い磁石と電波を使用して体の内部のさまざまな断面を撮像する検査方法です。

検査時間は約20～30分程度です。

【注意事項】

冠動脈ステント、生体弁、内視鏡クリップ、避妊リングなどの体内金属について、金属の種類や留置時期により検査が出来ないことがあります。ご不明な場合は手術された施設で確認してください。

カラーコンタクトレンズは必ずはずして頂きます。ケース等をご持参下さい。

化粧（アイシャドウ・アイライン・マスカラ）・ネイルの中には金属が使われているものもあり、吸引・発熱の可能性があります。検査前に落しておいてください。

刺青・タトゥーは火傷・変色の可能性があります。

【検査前にはずしておく物】直前に技師が確認させていただきます。

補聴器、取り外せる義歯、義手・義足、カラーコンタクト、メガネ、かつら、携帯電話、時計、アクセサリ、ヘアピン、ベルト、カイロ、エレキバン、ニトロダーム、ニコチンパッチ、血糖値測定用センサー（リブレ）ブラジャー、針治療の針

金属が使われている衣類や保温性下着（ヒートテック等）、キャッシュカード、クレジットカード、診察券等

※腹部（胆のう・すい臓）の検査を受けられる方は、検査前4時間は 絶食・絶飲 です。

※膀胱の検査の方は検査前に排尿しないでください。

【造影検査を受けられる方へ】

検査当日、「Gd（ガドリニウム）造影剤」という検査薬を注射で使用します。

絶食でお越しください。胆のう・すい臓の検査の方は 絶食・絶飲 です。

まれに患者様の体調やアレルギーの有無によって、吐き気やじんま疹、かゆみ、のどの違和感などの副作用を生じることもあります。

【副作用について】

軽度の副作用：頭痛、吐き気、かゆみ、発疹、手のむくみ、冷汗：（頻度1%未満）

重度の副作用：ショック・アナフィラキシー、痙攣発作、腎性全身性線維症など：（頻度1万人～2万人に1人）

造影剤使用直後から症状が出る場合がほとんどですが、30分～数日後に症状が出てくる場合があります。

異常が出た時は、速やかに担当医もしくは熊本セントラル病院へご連絡ください。

造影剤を注入する際に造影剤が血管の外に漏れるおそれがあります。細心の注意を払っておりますが、

そのような症状が出た場合には、迅速かつ最善の処置をさせていただきます。